

山根 耕治 議員



ワクチン接種の反省点は？

問 今後は高齢者へのコロナウイルスワクチン接種が一巡し、若い年代の町民への接種に移行していきます。

今後にいかすため、これまでの接種の反省点を伺います。

電話予約に加えネット予約を

答 電話予約を基本として対応してきましたが、電話がつかない、予約がとれない、といった状況が続きました。

今後は町ホームページからの予約を中心とし、同時に電話予約も受け付けるようにしていきます。

「山口県久賀町誌」は、昭和20年代、全国に先駆けて宮本常一の監修で編さんされました。他の3町もそれぞれ立派な町誌を編さんしています。



大島大橋への衝突事故の記録を！

問 大島大橋への貨物船衝突事故からまもなく3年となり、裁判も収束しつつあります。

この事故での行政、事業者、住民などの経験を、学術団体や住民の手をかりて記録として残り、防災にいかすことが将来に向けて必要です。

コロナ禍が落ち着いた際には、大島大橋の事故の公式記録を作成すべきと考えますが、町の考えを伺います。

対応資料は整理します

答 公式記録を作成する予定はありませんが、事故対応の資料を整理保管していきたいと考えています。

吉村 忍 議員



一括予約システムに

問 新型コロナワクチンの個別接種の受付は、前回混乱を招いた接種実施医療機関へ直接電話予約する方法を改め、一括予約システムにすべきであると考えます。

また、職員の負担軽減のため、コールセンターのオペレーターは外部委託すべきと考えますが、執行部の見解を伺います。

来年度も接種があるなら

答 現在10名体制で行っている町の予約センター業務の外部委託につきましては、9月上旬には接種を希望される全ての方が完了する計画であることから、今年度は考えておりませんが、来年度もワクチン接種が継続するならば、職員の負担軽減につながることから、検討してまいります。

キャッシュレス納税の導入を

問 スマートフォン等で家にながら納税ができ、ポイント還元の特典があり、新型コロナウイルス対策にもつながるキャッシュレス納税の導入を求めます。

来年度の導入に向け準備中

答 平成30年度にコンビニ収納を導入していますが、その頃から県内各市町の動向を見ながら、また、以前にも議会から質問等をいただいていたことも踏まえて導入について検討してまいりました。

その結果、収納チャネルの拡大による、納税者の皆様の利便性の向上、収納情報を迅速にデータで得ることができることによる消込時間の短縮等、大いにメリットがあると判断しました。

町の予約センター



写真は町提供

ワクチン予約をめぐるのは、予約が取れないなどの意見が1,000件以上寄せられた。